

# 令和元年度 学校関係者評価 (3学期)

中津市立沖代学校

## 1 学校の教育目標

楽しい学校 やり抜く子ども  
 ～ 仲間とともにやり抜く子どもの育成 自ら学びあう子どもの育成 ～

評価判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～ 89%
C	…達成率60～ 69%
D	…達成率60%未満

## 2 重点目標・達成指標、重点的取組等

目指す資質・	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	学校への意見および要望	
多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力	自ら学び合う子どもの育成	○国語・算数の単元テストで平均点が87点を超える ○児童アンケートで「授業がわかる」児童94%以上 ○授業アンケートで「友だちの考えを生かして学習している」児童92%以上 ○全国学力状況調査で合計点が県及び国の平均以上となる(国語、算数) ○各種学力定着状況調査で全学年基礎・活用とも目標値を5ポイント上回る。	学校	・考えを広げ深める他者との協働的な活動の充実 ・授業の中に児童が学年段階に応じて、ねらいを持った他者と協働し学び合う場(ペア・グループ活動、発表、学級全体協議)を1日1回は設定する	A	○ペアやグループで活発に授業に取り組んでいる。また前に出て説明している子どもの様子がとてもよく、日頃からの取組の成果がでている。 ○学力向上は目標以上に進んでいると思う。今後ともよくなることを願う。 ○野外学習を一層取り入れ、子どもたちにいろいろな興味を持って発見できる ○本を通していろいろな力が育つことを願っている。地域の読み聞かせサポーターの取組が、より子どもと本をつなげていけたらうれしい。 ○協働的な活動を来年度も継続してほしい。	
			学校	・書くことで思考力を育成する授業の実施 ・単元ごとに課題に対する自分の自分の考えを書くための手立てとして、図や表やワークシート、思考ツールなどのツールを活用して書く場や学年段階にむ応じた内容で書く視点を示して振り返りを書く場を設定し、1日1回以上設定する。	A		
			家庭	・書くことで思考力を育成する授業の実施 学習の手引きに沿った主体的な家庭学習の習慣の定着(低30分、中45分 高60分)を図る。	A		
			地域	学習サポーターやボランティア活動の充実 どの学年にも読み聞かせや学習サポーターとして学期に1回以上参加する。	A		
	仲間とともにやり抜く児童の育成	○児童アンケートで「学校のきまりを守っている」児童が94%以上 ○児童アンケートで「相手のよいところを見つけて伝えている」児童75%以上 ○「みんなで力を合わせて目標に向かって頑張っている」児童95%以上	学校	学校のきまりを守って生活していく態度とあいさつなど他者を大切にすることを身につけさせる。 目的を共有して協働する行事指導の工夫	学級や学年、全校集会において沖代小学校のきまりや「あすなるそうち」の指導を行う。また、毎月学年で取り組む内容について話し合い、進捗状況を学年で見直したりする。 各行事の目的を話し合い、振り返りを行い、成果と課題を確かめ合い成就感を味わわせる。	A	○チームの向上に努めて、目標を上回るように努力を続けてほしい。 ○きまりを守りながら、授業や行事に取り組むことはとても大切だと思う。 ○こちらから声をかけるとあいさつしてくれるが、子どもからのあいさつが少ないのは、寂しく残念である。 ○地域の方々の見守りと保護者の意識向上は課題がある。
			家庭	多様性を尊重し、お互いの良さを認め合い自己や他者を尊重しようとする態度の育成	・インターネットの使用についてのルールをつくり定期的に児童と改善について話し合う。 ・日常での言葉使いについて家庭で話し合いよりより言葉使いを習慣化させる。	A	
			地域	「あいさつプラスワン」の取り組みを進める(見守り隊の結成)	登下校の際に子どもたちに「おはよう」「おかえり」などの声かけを実施する。	A	
			学校	・チームで育てる学年運営 ・児童や教職員の情報共有及び発信	・毎週の学年部会で、学年の行事や授業について共通理解し、トラブルへの対応についても学年部の枠を超えて共同歩調で対応する。 ・児童の情報共有を情報交換会(隔週)や会議の中でを行い、共同歩調の対応ができるようにする。	A	
	信頼し高め合う	○「沖代小学校は働きやすい職場である」と肯定的に答える教職員の割合が80%以上 ○児童アンケートで「困ったとき、先生がよく話を聞いてくれる。」と思っている児童90%	学校	・働き方改革	・隔週の金曜日をノー残業デーとし、互いの声かけとともに、目印等、視覚的にもアピールして定時退庁日にする。 ・月1回、中津市が定める水曜日は定時退庁する。	A	○チームで育てるという意識はとても大事で、より多くの目で見守られ子どもたちが成長していけることや先生が1人で問題を抱え込まないためにも、素晴らしい取組だと思う。安心できる学校・職場作りにつながっていくと期待している。 ○先生方の一体感があれば、子どもたちの士気も上がる。これからもワンチームでお願いしたい。 ○先生方は毎日お忙しく働かれているので、1人ひとりの健康のため是非働き方改革を推進してほしい。
			家庭	・働き方改革における学校業務の共通理解とサポート	学力向上会議、学校便り等で学校の働き方改革について理解し、GTやサポーターとして学校支援を行う。	A	
			地域			A	
			学校			A	